

**令和2年度柏市地域活動支援補助金（＋１０）（様式１）
事業発表シート**

団体名	松野台自治会	
事業名	「近い・楽々・清潔」なゴミ出しを目指して、ゴミ集積所のコミュニティ活動事業を展開	
事業担当者（発表者）	白石 利次	
分野	☒	環境美化・保全
	☐	防災・防犯
	☐	地域交流促進
事業の概要	★ゴミ出し専門部隊「ゴミ出し楽々隊」による活発なコミュニティ活動を展開して、大量ごみ集積所の分散と「ゴミネットボックス」の最適設置を行う。活動指針「近くて楽々私達のクリーンステーション」の実現を図る。 ★活動概要→各集積所からの要望に対して、話し合い・提案・トラブル対応・集積所ルール作成、ゴミボックス発注手配・市役所への応募申請・集積所届け出・ボックス固定作業・収支管理・集積所ゴミ出し名入れ地図作成・対外交渉・自治会へのハウレンソウなど多岐にわたる。なお、本年度は永年の課題であった資源ゴミ集積所のごみ出し先と当番先が異なる集積所（約25箇所）の見直し改善もごみ出し楽々隊が英断・完遂した。	
成功だったこと 良かったこと	初年度からの折り畳みゴミボックス設置合計は38台（世帯合計370世帯・集積所平均は約10世帯） ★1大量ゴミ場が減少・ゴミボックスの分散化が進んだことにより、街内道路の環境美化が進んだ。 ★2集積所が近くゴミ出しが楽になり「Myゴミボックス」への意識変換が進んだ。ゴミ出しの嫌悪感が解消され、逆に自宅近くのボックスに愛着を感じ、高齢者や当番困難な方の当番参加も増えている。 ★3ゴミボックス周辺がクリーン管理され、ゴミ出しルールの意識も強化された。 ★4ご近所少世帯のゴミ集積所グループに様変わりしたことにより、今まで皆無であった「日常挨拶会話」が生まれ、ゴミ集積所の小さなコミュニティができつつある。 ★5孤軍奮闘のごみ出し楽々隊に強力な作業ボランティア（ボックス固定作業・ルール表パウチ作成など）が加わり、布陣強化された。	
事業費支出の主なもの	備品購入代 折り畳みゴミネットボックス 18台 448,877円	

課題となったこと	ゴミ集積所問題は複雑な事情が絡んでるいるため、自治会は関与を避けてきた。自治会対応は困難との思いでボランティア「ごみ出し楽々隊」を立ち上げ、会員からの要望に対して2年間全力投球してきた。(3年間で全対応の見込み) ★課題①は多数ゴミ集積所(約50箇所の見込み)への自治会関与である。R3最終年度後半はゴミ集積所の名入れ地図や管理要領を作成の上、11月の理事長会に自治会関与のあり方議案を提出する→キーポイントは全集積所管理責任者の毎年登録義務付け ★課題②は新築住宅増時の住宅販売会社との交渉 ★課題③は集積所ゴミ量オーバーフロー時ボックス容量増や世帯移動調整 ★課題④はゴミの不法投棄への対応 ★課題⑤はゴミ集積所クリーン管理・ルール順守啓蒙や情報提供→集積所のゴミコミュニティ活性 ♣♣以上の課題を自治会と共有化して、関係する集積所管理責任者とごみ出し楽々隊が連携して改善する仕組みの構築を目指す♣♣
-----------------	---

4箇所分散のご提案



柏市地域活動支援補助金事業活動の詳細（写真等）



団体名 松野台自治会
事業名 「近い・楽々・清潔」なゴミ出しを目指して、
ゴミ集積所のコミュニティ活動事業を展開

目的

大量ゴミ場弊害(カラス被害・通行障害・ルール違反・当番負担)を解消し
「近い・楽々・清潔」なゴミ集積所とごみニケーションを実現する

各集積所のニーズに合った折り畳みボックス提案

ごみ当番の負担解消して
私達のクリーンステーション

話し合いで私達のルール

クリーンステーション利用ルール

8~10軒のご近所グループ
に分散(最大で20軒)



超高齢者も当番参加！



マイステーション
愛着感じる！



近くて楽々私達のクリーンステーション！

